

## シラバス

教科名	音楽	学年	2 学年
-----	----	----	------

目 標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> <p>※目標はさらに1段階と2段階で構成されている。</p>
学年の目標	<p>表現及び鑑賞の活動を通して、音楽活動への興味・関心を深めるとともに、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。</p>

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度をA～Dの4段階で総合評価)
4 5 6	7	A 表現 歌唱 B 鑑賞 「式歌」 校歌 国歌 「日本の歌」 共通教材	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の意味を理解して歌うことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽記号や強弱を意識して、曲想を考えながら歌うことができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞において、自身の意見を述べるとともに他者の意見も受け入れながら交流することができる。</li> </ul>	<p>校歌 国歌 日本の歌【高等部1段階】</p> <p>①曲想や音色を意識した歌い方について。</p> <p>②発声、発音などの姿勢について。</p> <p>③他者の歌唱への合わせ方について。</p> <p>鑑賞【高等部1段階】</p> <p>①曲や演奏のよさなどについて考えることについて。</p> <p>②音楽の特徴について考えることについて</p> <p>【国語：文章解読】</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>1段階：歌詞の意味、曲想などを考え、意識しながら歌うことができる。</p> <p>2段階：曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>1段階：楽譜から情報を読み取ることができる。</p> <p>2段階：楽譜から読み取った情報を表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>1段階：曲を聴き、自分の感想を持つことができる。</p> <p>2段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。</p> <p>評価方法：実技、レポート提出、出席</p>
6 7 8 9	12	A 表現 身体表現 B 鑑賞 手話付きの 歌唱曲	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手話の意味を理解して使うことができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手話の役割を考え、歌唱とともに手話を使う意味を意識しながら表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞において、自身の意見を述べ、他者の意見も受け入れながら交流することができる。</li> </ul>	<p>身体表現（手話）【高等部1段階】</p> <p>①歌詞の意味の理解について。</p> <p>②曲想や手話を意識した歌い方について。</p> <p>③曲想に合わせた手話の動きについて。</p> <p>④曲想に合わせた手話表現について。</p> <p>鑑賞【高等部1段階】</p> <p>①曲や演奏のよさなどについて考えることについて。</p> <p>②音楽の特徴について考えることについて。</p> <p>【総合的な学習：手話】</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>1段階：手話の意味を理解しながら使うことができる。</p> <p>2段階：手話を使った歌唱の意味を考えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>1段階：手話を用いることで視覚的な意味を持たせることを理解し表現することができる。</p> <p>2段階：曲想に合わせた手話表現を心がけることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>1段階：曲を聴き、自分の感想を持つことができる。</p> <p>2段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。</p> <p>評価方法：実技、レポート提出、出席</p>
10 11 12	8	A 表現 器楽・創作 B 鑑賞 「器楽」 各種楽器演奏 「創作」 メロディーの 創作 「鑑賞」 DVD 鑑賞 ミュージカル など	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器、楽譜の使い方を理解することができる。</li> <li>ワークシートや教材を使って、創作する方法、知識を得ることができる。</li> <li>曲の歴史や背景を理解することができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他者の音を聴いて合わせるすることができる。</li> <li>音楽記号や曲想を考えて表現することができる。</li> <li>旋律や音楽をつくるために、音の選択や組合せについて考えることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞において、自身の意見を述べ、他者の意見も受け入れながら交流することができる。</li> </ul>	<p>器楽【高等部1段階】</p> <p>①曲想を理解した表現について。</p> <p>②楽器の音色や響きを感じた演奏について。</p> <p>③他の声部の音を聴いた合わせ方について。</p> <p>創作【高等部1段階】</p> <p>①創作表現に必要な知識や技能を得て、生かすことについて。</p> <p>②音素材の特徴や構成の特徴を考えることについて。</p> <p>③旋律や音楽をつくるための音の選択、組合せについて。</p> <p>鑑賞【高等部1段階】</p> <p>①曲や演奏のよさなどについて考えることについて。</p> <p>②音楽の特徴について考えることについて。</p> <p>③曲の歴史や背景について知ることについて。</p> <p>【社会：世界の歴史、文化】</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>1段階：楽譜を読みながら正しい楽器の使い方演奏することができる。創作の手順に則って曲をつくることができる。曲の背景を知ることによって表現に深みを持たせられるようにする。</p> <p>2段階：楽譜の情報を読み取りながら演奏することができる。創作の中で自分なりに表現したい内容を考えることができる。鑑賞で得た知識を歌唱や器楽、創作などに生かすことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>1段階：他者の音を聴きながら自分の音を聴き、合わせて演奏することができる。音楽記号や強弱の変化など曲想の変化を意識しながら表現することができる。音の選択、組み合わせを考え、旋律を形づくることことができる。</p> <p>2段階：合奏の響きを感じ取り、全体の流れを意識して演奏することができる。曲の構造を理解し、全体の流れを考えた曲をつくることことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>1段階：曲を聴き、自分の感想を持つことができる。</p> <p>2段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。</p> <p>評価方法：実技、レポート提出、出席</p>

1 2 3	8	A 表現 歌唱・器楽 身体表現 B 鑑賞 「発表会」 今年度まとめ 他学年の発表 の映像鑑賞 「式歌」 校歌 国歌	<b>【知識及び技能】</b> ・歌い方や楽器の使い方を理解して演奏することができる。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・他者の音を聴いて合わせることができる。 ・音楽記号や曲想を考えて、表現することができる。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・鑑賞において、自身の意見を述べ、他者の意見も受け入れながら交流することができる。	<b>歌唱【高等部2段階】</b> ①曲想や音色を意識した歌い方について。 ②他の声部の音を聴いた合わせ方について。 <b>器楽【高等部2段階】</b> ①曲想を理解した表現について。 ②楽器の音色や響きを感じた演奏について。 ③他の声部の音を聴いた合わせ方について。 <b>鑑賞【高等部2段階】</b> ①曲や演奏のよさなどについて考えることについて。 ②音楽の特徴について考えることについて。 <b>【行事：卒業式】</b>	<b>【知識・技能】</b> 1段階：正しい姿勢で歌唱し、正しい使い方で楽器を演奏することができる。 2段階：他の声部と合わせながら曲想を意識して演奏することができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 1段階：他者の音を聴きながら自分の音を聴き、合わせて演奏することができる。 2段階：他者に合わせながら、音楽記号や強弱の変化など曲想の変化を意識しながら表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 1段階：曲を聴き、自分の感想を持つことができる。 2段階：他者の感想を尊重し、受け入れることができる。 評価方法：実技、レポート提出、出席
-------------	---	--	---	--	--